

## 【TEC-FORCE 派遣隊員 第2陣】 [7/15の主な活動]

### 【総合指令班】

隊長 関 地域河川調整官 (河川部)  
白鳥係長 (企画部 広域計画課)  
竹内係長 (総務部 契約課)

### 【被災状況調査班 (砂防第1班)】

班長 渡邊建設専門官 (企画部)  
本田係長 (河川部 河川工事課)  
岸技官 (河川部 河川計画課)  
関川課長補佐 (総務部 会計課)  
運転手 (委託)

### 【被災状況調査班 (砂防第2班)】

班長 金子副所長 (立山砂防事務所)  
寺崎専門官 (立山砂防事務所)  
工藤技官 (立山砂防事務所)  
宮係長 (立山砂防事務所)  
運転手 (委託)

### ●砂防第1班 (北陸地方整備局)

7:00 宿発  
8:45 現地着 砂防危険箇所点検 (疣目川)  
12:40 現地点検終了  
14:40 九州技術事務所着 内業作業  
19:00 撤収

### ●砂防第2班 (立山砂防事務所)

7:00 宿発  
7:40 九州技術事務所着 内業作業  
※明日の成果引き渡しに向けて作業  
19:00 撤収

## 【7/16の活動予定】

### ●砂防第1班、第2班

9時～朝倉県土整備事務所にて成果引き渡し  
PM～東峰村役場で打合せ後、流木調査予定

### 【7/14～7/15点検箇所数】

12箇所 (第2陣 合計)  
(土石流危険溪流: 7箇所、急傾斜崩壊危険箇所: 5箇所)

### 【7/11～15 点検箇所数】

32箇所 (第1陣・第2陣合計)  
(土石流危険溪流: 17箇所、急傾斜崩壊危険箇所: 16箇所)

### 【点検総箇所数 (7/15時点)】

北陸担当箇所 : 42箇所 (立ち入り困難等10箇所含む)  
土石流危険溪流: 22箇所、急傾斜崩壊危険箇所: 19箇所  
地すべり危険箇所: 1箇所  
朝倉市、筑後川水系佐田川左支、黒川・疣目(いぼめ)川  
全体点検箇所数 : 541箇所  
土石流危険溪流 I : 134箇所、II : 186箇所  
地すべり危険箇所: 11箇所  
急傾斜崩壊危険箇所 I : 77箇所、II : 133箇所



▲7月15日 九州技術事務所 報告書とりまとめ作業  
[砂防第2班]



▲7月15日 朝倉市 疣目川流域 砂防危険箇所点検  
[砂防第1班]



# 「平成29年九州北部大雨災害」北陸TEC-FORCE活動状況 ～ 7月15日被災状況調査(道路班) ～

国土交通省 北陸地方整備局  
平成29年7月15日



▲7月15日 朝倉市役所 班長会議  
[道路班(長岡国道[事])]



▲7月15日 朝倉市把木志波地先 現地調査状況1  
[道路班(長岡国道[事])]



▲7月15日 朝倉市把木志波地先 現地調査状況2  
[道路班(長岡国道[事])]



▲7月15日 朝倉市把木志波地先 現地調査状況3  
[道路班(長岡国道[事])]



▲7月15日 朝倉市把木志波地先 現地調査状況4  
[道路班(長岡国道[事])]



▲7月15日 朝倉市への調査結果報告  
[道路班(長岡国道[事])]